

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価
－ 平成25年度の実績 －

白鷹町教育委員会

目 次

1. 点検・評価制度の概要について	1
2. 平成25年度 教育委員会開催実績	2
3. 予算の体系と主な取組み	3
4. 点検評価表	
学校教育の充実	4
生涯学習の推進	9
芸術文化の振興	13
生涯スポーツの振興	19

1. 点検・評価制度の概要について

(1) はじめに

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第27条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられたことに伴い実施するものです。

【参考】

〈地方教育行政の組織及び運営に関する法律〉

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 目的

白鷹町教育委員会が行う教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、現状における課題や今後の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図る。また、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政の推進を図る。

(3) 対象事業

平成25年度に行った主要な事務事業（「当初予算の概要」で示した事業）

(4) 評価の項目等

必要性	： 役割分担、町が実施すべきものか、時代ニーズ・町民ニーズを踏まえているか等の視点 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
費用対効果	： 運営方法、コストに見合った効率的な活動等を行ったか等の視点 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
有効性	： 施策を実現する手段・利用者に偏りはなにか、成果や効果の把握等の視点 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
方向性	： 今後の方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

2. 平成25年度 教育委員会開催実績

委員会開催日	番 号	議 案
4月23日	議題 16号	白鷹町障がい児就学指導委員会委員の委嘱について
	議題 17号	地区公民館分館長、書記の任命について
	議題 18号	地区公民館運営委員会委員の委嘱について
	議題 19号	白鷹町青少年育成推進員の委嘱について
	議題 20号	白鷹町スポーツ振興基金運営委員会委員の委嘱について
	議題 21号	白鷹町競技力向上対策委員会委員の委嘱について
6月3日	議題 22号	白鷹町図書館協議会委員の任命について
	議題 23号	白鷹町立小・中学校学校評議員の委嘱について
	議題 24号	白鷹町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
6月10日	議題 25号	教職員の処分について
7月2日	議題 26号	白鷹町統合中学校整備工事請負契約の締結に関する意見聴取について
7月18日	議題 27号	白鷹町文化交流センターの管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	議題 28号	平成26年度使用教科用図書採択について
10月1日	選第 1号	白鷹町教育委員会委員長の選挙について
11月13日	議題 29号	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
12月2日	議題 30号	(仮称)町民武道館等整備事業に伴う用地取得に関する意見聴取について
2月19日	議題 1号	平成26年度白鷹町教育行政一般方針について
	議題 2号	平成26年度白鷹町一般会計予算のうち教育費に関する予算の意見聴取について
	議題 3号	白鷹町立小、中学校設置条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 4号	白鷹町文化交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 5号	白鷹町教育施設使用条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 6号	白鷹町鮎貝ふれあい広場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 7号	白鷹スカイパーク設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 8号	白鷹ペアリフトの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 9号	白鷹町就業構造改善センター条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 10号	白鷹町蚕桑紬パーク設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議題 11号	白鷹町立小学校通学区域外就学の許可について
	議題 12号	白鷹町統合中学校整備工事請負契約の一部変更に関する意見聴取について
3月11日	議題 13号	平成26年度教職員人事異動の内申について
	議題 14号	平成26年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動方針について
	議題 15号	白鷹町文化交流センターの管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	議題 16号	白鷹町立小・中学校、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	議題 17号	白鷹町教育相談員の委嘱について
	議題 18号	白鷹町スポーツ推進委員の委嘱について
	議題 19号	白鷹町立図書館長の任命について
3月24日	議題 20号	平成26年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動について
	議題 21号	地区公民館長の任命について
	議題 22号	地区公民館職員の任命について
	議題 23号	白鷹町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	議題 24号	白鷹町立小学校・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

※その他、協議会、学校訪問、各学校行事、研修会等の参加があります。

○予算の体系と主な取組み

「学び、集い、笑顔かがやく白鷹人」の育成

1. 学校教育の充実

- 1. 地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり
- 2. 知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成
- 3. 共に白鷹の子どもたちを育てる連携教育の推進

2. 生涯学習の推進

- 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり
- 2. 「住民主体の公民館活動」を充実し、かかわりが深まる地域づくり
- 3. 生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

3. 芸術文化の振興

- 1. 歴史的・文化的資産の保存活用による誇れる郷土づくり
- 2. 町史編さん事業
- 3. 文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり
- 4. 文化を介した交流、未来にはばたく人づくり
- 5. 利用しやすい図書館づくり

4. 生涯スポーツの推進

- 1. 健康・生活スポーツの環境整備に努め、心豊かになる人づくり
- 2. スポーツ団体・関係機関の連携による競技スポーツの推進と指導者づくり
- 3. 安心・安全なスポーツ環境づくり

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 1. 地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

係名 学校教育係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	統合中学校整備事業	<p>【事業概要】 統合中学校の施設整備として、普通教室棟の耐震工事、昇降口棟の改築工事を行う。管理棟の増築については、債務負担行為を設定し一括発注する。</p> <p>【成果】 普通教室棟耐震工事、昇降口棟改築、中庭造作の撤去を完了。平成26年度に管理棟増築、渡り廊下(社協玄関)改築、特別教室棟・体育館地震補強、外構整備工事を行う。</p>	293,592	4	4	4	A	
2	スクールバス運行管理等費	<p>【事業概要】 児童・生徒の通学の利便性と安全性を確保するため全町的にスクールバスを運行している。通学6路線分の運行と学校行事や中体連等にも活用する。東根地区の児童生徒の路線バスの定期代も全額負担する。</p> <p>【成果】 学校行事・部活動・熊出没等にも柔軟に対応した。</p>	30,499	4	4	4	A	
3	特色ある学校経営推進事業	<p>【事業概要】 地域の学校という位置づけのもと、総合的な学習を通してスポーツ・環境・福祉・農業・キャリア教育など各校の特性をもった体験学習等を行う。小学校費663千円、中学校費487千円</p> <p>【成果】 総合学習や職場体験などの実施に成果があった。 小学校費662,200円、中学校費485,200円</p>	1,147	4	4	4	A	

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 1. 地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

係名 学校教育係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
4	教育研究所運営事業	<p>【事業概要】 教職員相互の調査研究等を行い、教育経営や授業等の実践向上を図る。事業内容の精査を行い、専門部や委員会活動の充実を図るとともに、研究・研修の奨励等を行う。</p> <p>【成果】 全教職員参加のもと、授業を通じた研究・研修を行うことにより、児童生徒の学力向上につながっている。</p>	990	4	4	4	A	
5	学校施設整備事業	<p>【事業概要】 各校で老朽化してきた施設・設備等の更新・整備を行う。 小学校費13,630千円、中学校費725千円</p> <p>【成果】 荒砥小学校プール浄化装置更新、鮎貝小学校カーペット床改修工事ほか、各小・中学校の施設修繕を行った。</p> <p>【事業概要】 スクールガードリーダーを1名配置。通学路の点検・確認、巡回パトロール、見守り隊への指導・助言などを行う。財源は、国・県・町それぞれ1/3負担となる。</p> <p>【成果】 1名を配置し、通学時の安全指導を行った。</p>	13,161	4	4	4	A	学校施設の老朽化が進んでおり、小 学校は大規模な修繕が必要。
6	地域学校安全指導員 配置事業		252	4	4	3	A	

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 1.学校教育の充実

中項目 2.知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

係名 学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	学校生活支援員設置事業	<p>【事業概要】 発達障がい等により授業や集団生活等に適応できない児童生徒の対応や、習熟度別学習にも対応するため、支援員を配置する。</p> <p>【成果】 各学校の事情に応じた学習指導や、特に支援が必要な児童生徒の対応などきめ細かな対応ができた。</p>	13,607	4	4	4	A	待遇面で県非常勤講師と格差がある。
2	教育相談事業	<p>【事業概要】 教育相談委員2名を委嘱。不登校児童生徒の対応のため八乙女教室の開催や学校・家庭訪問等の教育相談、学校担当者との教育相談定例会を実施する。</p> <p>【成果】 中学校における別室登校生徒の指導および定例会における助言指導を行った。尚、八乙女教室での対応はなかった。</p>	726	4	4	4	A	
3	英語指導助手(ALT)設置事業	<p>【事業概要】 小・中学校の英語学習の充実と英語に触れる機会を増やすため英語指導助手を委託。</p> <p>【成果】 民間事業者に英語指導助手業務を委託し、中学校英語教育の充実を図った。また、小学校での外国語活動にも対応し、英語への慣れ親しみ、興味・関心を高めることにつながった。</p>	4,673	4	4	4	A	
4	要保護及び準要保護援助事業	<p>【事業概要】 経済的に困難な状況にある世帯の児童生徒について学用品費や修学旅行費・給食費など就学援助を行う。小学校費3,309千円、中学校費2,476千円</p> <p>【成果】 実人数47名に就学援助費を給付した。 小学校費2,131,937円、中学校費1,488,298円</p>	3,620	4	4	4	A	

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 1.学校教育の充実

中項目 2.知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

係名 学校教育係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
5	中体連・中文連活動 費	<p>【事業概要】 部活動の活性化のための経費。中体連等大会派遣費1,800千円、楽器購入費1,423千円</p> <p>【成果】 地区中体連大会に出場し、日頃の部活動の成果を発揮した。県大会、東北大会、全国大会に出場した種目もあり、生徒の活躍がみられた。また、老朽化していた吹奏楽部のユーフォニアム、シロフォン、マリンバ、フルートを購入した。</p>	2,401	4	4	4	A	

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 3. 共に白鷹の子どもたちを育てる連携教育の推進

係名 学校教育係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	学校再編整備事業	<p>【事業概要】 統合中学校の校歌・校章の作成や通学方法などの具体的な事項について、統合準備委員会で協議しながら進める。また、鷹山小学校については、地域の方々と話し合いを進める。</p> <p>【成果】 校歌制作を田勢康弘氏ほか2名に依頼。平成26年度完成を目指す。校章は、統合準備委員会の審査を経て、教育委員会で決定した(応募総数278点)。小学校統合についても統合準備委員会を組織し、協議検討いただいた。統合後の校名・校歌・校章について現在の荒砥小学校のものとすることを決定いただいた。</p>	2,013	4	4	4	A	
2	荒砥高等学校活性化事業	<p>【事業概要】 新たに多様な生徒に対応する教育支援員の設置について支援を行う。また、引き続き中学校との連携強化や魅力ある学校づくりのため支援を行う。</p> <p>【成果】 特別な支援を要する生徒に対する支援が手厚く行われるようになり、それぞれの生徒の特性に応じた成長が図られた。また、中学生への学校説明会の開催等により、入学希望者をより多く確保することができた。</p>	1,399	4	4	4	A	
3	白鷹高等専修学校経営補助金	<p>【事業概要】 経年劣化等による施設・設備の更新整備について支援するとともに、例年のとおり学校経営支援を行う。</p> <p>【成果】 学校運営補助3,800千円、施設整備補助4,040千円。学校運営では、教育条件の維持及び向上が図られた。施設整備では、屋根及び軒下補修、暖房機更新、トイレ改修、畳替えを行った。</p>	7,840	4	4	4	A	

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 2.生涯学習の推進

中項目 1.「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

係名 生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	成人式開催事業	<p>【事業概要】 町内在住及び町内出身の成人者を対象として8月15日に開催する。今年は170人が対象。</p> <p>【成果】 平成25年度は170名を対象。実行委員会を組織することで、成人者が自主的に成人式・成人祭に関わることができた。</p>	362	4	4	4	A	受け付けから開会までスムーズに展開されるよう、時間厳守、受付の効率的な業務に努める。実行委員会において周知徹底する。
2	白鷹学講座開催事業	<p>【事業概要】 地域の社会力や文化力の向上を目指し、子どもから大人まで、生涯各期にわたる「白鷹学講座」を開催し、生涯学習の場の提供を図る。</p> <p>【成果】 ①食育講座講演会7/23～25、②田勢康弘講演会7/29、③地域の民俗学講座「鮎貝・深山・黒鴨地区」10/27、④大人のための社会科見学、⑤荻原次晴講演会3/21 計5回 参加者延べ460名</p>	1,000	4	3	4	B	参加者の満足度は概ね好評価であった。しかし、参加者数の目標数値が達成できなかつたので、周知方法などについて企画委員会等において検討する必要がある。
3	家庭教育支援事業	<p>【事業概要】 家庭教育の重要性を考慮し、町内小中学校において実施する家庭教育の講座を支援する。 1.家庭教育支援事業 2.食育推進事業 3.家庭教育出前講座 4.幼児共育ふれあい広場事業</p> <p>【成果】 1.就学時健診や入学説明会等を利用し、保護者に子どもとの関わり、事例を交えた講演で、保護者には有効な学習機会となった。2.郷土料理教室参加者数の目標数値20名に対し、25名の参加となった。親子で郷土料理を作り、食すことで改めて食文化の大切さを感じてもらえた。3.白鷹町役場にて開催。4.よつば保育園で公開講座を開催。</p>	107	4	4	4	A	限られた時間のため、グループワーク等の広がりを持たせることができない。また、親だけでなく祖母にも同様の機会がほしい。就学時健診や入学説明会だけでなく、PTA研修会等でも利用できる旨、学校への依頼・連絡調整を図る。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 2.生涯学習の推進

中項目 1.「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

係名 生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
4	学校支援地域本部事業	<p>【事業概要】 「地域の教育力の向上」や「多様な形態の教員支援」などを目的に、西中学校区(蚕桑、鮎貝)において実施。西中学校に配置する「地域コーディネーター」11名が、学校支援のボランティアの取りまとめなどを行ないながら地域全体で学校を支援する体制の構築を目指す。国・県3分の1ずつの補助事業。</p> <p>【成果】 ボランティア登録者数131名。協力述べ人数1,460名。本事業に継続して取り組むことにより、様々な活動に大きな成果を上げている。また、ボランティア活動を通して地域と学校の融合・連携の深まりが感じられる。</p> <p>【事業概要】 将来を担う子どもたちの人材育成を目指す町内外での交流プログラム。平成25年度は中学生を対象に新潟県長岡市栃尾地区とのスポーツ交流と小学生を対象とした宮城県気仙沼市とのスポーツ交流をいずれも白鷹町で実施する。</p> <p>【成果】 小学生を対象とした宮城県気仙沼市とのスポーツ交流(サッカー)を白鷹町で実施したが、中学生を対象にした新潟県長岡市栃尾地区とのスポーツ交流(野球)は豪雨災害のため実施できなかった。</p> <p>【事業概要】 小中高校生が生涯学習分野(文化、スポーツ含)において、県大会等の予選を通過し全国規模の大会等に出場、あるいは賞を受賞した者を讃えることを目的として実施。個人1万円、団体1人あたり1万円(5万円上限)で報奨金を交付する。</p> <p>【成果】 スポーツ部門17名、文化部門1名に報奨金を交付した。</p>	1,028	4	4	4	A	保護者の方々だけでなく、いかにより多くの地域住民の方々に協力してもらえかが課題。地域協議会において検討が必要。
5	小中学生交流事業	<p>【事業概要】 将来を担う子どもたちの人材育成を目指す町内外での交流プログラム。平成25年度は中学生を対象に新潟県長岡市栃尾地区とのスポーツ交流と小学生を対象とした宮城県気仙沼市とのスポーツ交流をいずれも白鷹町で実施する。</p> <p>【成果】 小学生を対象とした宮城県気仙沼市とのスポーツ交流(サッカー)を白鷹町で実施したが、中学生を対象にした新潟県長岡市栃尾地区とのスポーツ交流(野球)は豪雨災害のため実施できなかった。</p> <p>【事業概要】 小中高校生が生涯学習分野(文化、スポーツ含)において、県大会等の予選を通過し全国規模の大会等に出場、あるいは賞を受賞した者を讃えることを目的として実施。個人1万円、団体1人あたり1万円(5万円上限)で報奨金を交付する。</p> <p>【成果】 スポーツ部門17名、文化部門1名に報奨金を交付した。</p>	250	3	3	3	B	開催時期について委託先との協議が必要。
6	成績優秀者激励金交付事業	<p>【事業概要】 小中高校生が生涯学習分野(文化、スポーツ含)において、県大会等の予選を通過し全国規模の大会等に出場、あるいは賞を受賞した者を讃えることを目的として実施。個人1万円、団体1人あたり1万円(5万円上限)で報奨金を交付する。</p> <p>【成果】 スポーツ部門17名、文化部門1名に報奨金を交付した。</p>	180	4	3	4	A	大学生や一般にも拡大してほしいとの要望があり検討が必要である。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 2.生涯学習の推進

中項目 2.「住民主体の公民館活動」を充実し、かかわりが深まる地域づくり

係名 生涯学習・文化振興係、地区公民館担当

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	協働のまちづくり交付金	<p>【事業概要】 住民による主体的な公民館運営を目的に、生涯学習の実践の場となる地区公民館の管理や事業費として交付する。この交付金により、講座や教室など特色ある事業の実施や分館活動の事業助成を行っている。</p> <p>【成果】 各地区公民館運営委員・分館長・分館書記が積極的に企画し、公民館まつり、新春交流会、研究会などを開催した。また、各世代を対象とした講座を実施し、学びの機会の提供を行った。</p>	19,633	4	3	3	E	次年度からは地区公民館のコミュニティセンター化に伴い、この事業は今回で完了となる。今後は、生涯学習事業を含め、地域が主体となって取り組む事業を支援していく。
2	放課後子どもプラン推進事業	<p>【事業概要】 「放課後」の子どももの安全・安心な居場所づくりを目的として実施。学校施設や地区公民館等において、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などを行う。活動は、蚕桑、鷹山小学校と今年度から十王地区追加し、それぞれ地区公民館に事業を委託して実施する。</p> <p>【成果】 蚕桑、鷹山、荒砥小学校を対象とし、それぞれ地区公民館に事業を委託して実施した。</p>	1,254	4	4	4	A	現在、地区公民館に事業を委託して実施しているが、コミュニティセンター化への対応について運営委員会での検討が必要である。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 2.生涯学習の推進

中項目 3.生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

係名 地区公民館担当

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	地区公民館耐震化事業	<p>【事業概要】 平成24年度に実施した地区公民館の耐震度診断において、耐震度不足と判定された番桑、東根地区公民館の旧館について耐震化工事を実施する。</p> <p>【成果】 耐震工事を行い、安全で安心して利用していただく環境が整った。</p>	28,988	4	4	4	E	地区公民館の耐震化は完了した。今後引き続き、必要な措置を取りながら、施設の良好な管理を行っていく。
2	分館施設整備費補助事業	<p>【事業概要】 各分館で実施される施設修繕などの事業に対する補助事業。事前調査では平成24年度中に8分館が改修等の予定がある。 * 補助の概要 新築：総事業費の30%以内(300万円限度) 増・改築、修繕：30%以内(総事業費10万円以上、30万円限度) 備品購入等：20%以内(総事業費10万円以上、10万円限度)</p> <p>【成果】 実施分館 19分館 補助金額 2,151千円(事業費総額 7,287千円) 事業内容 屋根塗装、置替え、建具工事等</p>	2,151	4	3	3	A	自己負担も伴うことから、地域住民により計画的に実施されている。今後分館の老朽化に伴い大がかりな修繕が必要となる場合や解体等に関して、地元負担の見直しが必要。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 3.芸術文化の振興

中項目 1.歴史的文化的資産の保存活用による誇れる郷土づくり

係名 生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	文化財保護対策費	<p>【事業概要】 指定文化財(国・県・町)の保護活用及び管理事業の実 【成果】 文化財保護審査会を2回開催し、文化財保護管理に関する検討を行った。また、カモシカ死体処理や国や県の支援を受けながら保護対策事業を実施した。平成25年7月の豪雨により被害を受けた諏訪神社ほか4カ所について復旧事業を実施した。</p> <p>【事業概要】 文化財の保護、管理、調査の実施。文化財史料や古文書の調査を進める。</p> <p>【成果】 文化財の計画的な調査と保護を行い町民の誇りである文化遺産を守り継承していくため、小四王原遺跡の保護管理、樹木医による古典桜の巡回指導を実施した。また滝野御番所跡地と深山観音堂の干手観音像の放射性炭素年代測定を行った。</p>	6,786	4	4	4	A	国・県指定文化財については、国や県などの支援を受けながら保護対策事業を実施しているが、相当の地元負担を要するため、支援の拡充を求めていく必要がある。
2	文化財保護調査事業	<p>【事業概要】 文化財の保護、管理、調査の実施。文化財史料や古文書の調査を進める。</p> <p>【成果】 文化財の計画的な調査と保護を行い町民の誇りである文化遺産を守り継承していくため、小四王原遺跡の保護管理、樹木医による古典桜の巡回指導を実施した。また滝野御番所跡地と深山観音堂の干手観音像の放射性炭素年代測定を行った。</p>	494	4	4	4	A	文化的資源の専門的な調査を行う調査員の確保が課題である。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 3.芸術文化の振興

中項目 2.町史編さん事業

係名 生涯学習・文化振興係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	白鷹町史編さん事業	<p>【事業概要】 町史編さんに係る事業の実施。特に白鷹町誕生後のおよそ60年間の歩みと実績について「白鷹町史・現代編」として、平成26年刊行を目標に編さんを進める。</p> <p>【成果】 町史編さん室長、副室長、職員1名により、平成26年刊行に向けて史料収集整理作業や原稿編集作業を実施した。</p>	5,551	4	4	4	A	計画的に事業が進められるよう、進捗管理が必要である。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 3.芸術文化の振興

中項目 3.文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり

係名 生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	芸術文化振興(芸術祭)事業	<p>【事業概要】 町芸術文化協会との連携により芸術祭を行う。芸術の発表を通して芸術文化の振興と生きがい作りの創出を図る。 ①公演部門：おんがく祭(小・中・高校生他)、芸能まつり、謡曲発表 ②展示部門：写真・絵画・書道・生花・茶席</p> <p>【成果】 11月2日、3日の2日間、文化交流センター「あゆむ」において町芸術文化協会との連携により開催した。青少年少女合唱団、小・中・高校生によるおんがく祭、謡曲発表、芸能まつり、茶席、書道、俳句展、防火ポスター展、絵画、華道、写真、一般作品等の展示を行った。また、新潟県栃尾地区の芸術文化協会から約20名が参加し、地元の踊りを披露していただき交流を深めた。来場者拡大のため、プログラムの事前全戸配布、当日シャトルバスの運行を行った。</p>	612	4	4	4	A	芸術文化の振興のため、今後とも継続した開催となるように努める。更なる参加者の拡大に向け開催内容の工夫に努める必要がある。
2	芸術文化鑑賞(山響演奏会)事業	<p>【事業概要】 文化によるまちづくりを推進するために、山形交響楽団による演奏会を開催する。</p> <p>【成果】 12月23日、文化交流センター「あゆむ」で開催した。この演奏会はハーモニコンサート実行委員会が、企画から会場準備等までの全ての業務を行っている。</p>	830	4	4	4	A	交響曲の生演奏を聴くことから、今後もある貴重な機会であることから、今後も継続した開催を目標していく。また、入場者を確保するため、開催内容の工夫に努める必要がある。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 3.芸術文化の振興

中項目 3.文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり

係名 生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
3	伝統芸能保存伝承事業	<p>【事業概要】 「高玉芝居」の保存継承と、鑑賞の場を提供するため定期的な公演を開催する。</p> <p>【成果】 2月11日、さくらの里文化伝承館で開催した。PRチラシを作成し、桜の里づくり推進委員会の協力を得ながらチケット販売を行った。前売券販売は昨年度より約30枚多かった。</p>	200	4	4	4	A	今後も継続した後継者の確保・育成に努める必要がある。
4	こども芸術文化活動事業	<p>【事業概要】 青少年の健全育成と芸術文化活動への支援のため事業を創設し、平成25年度は白鷹町少年少女合唱団へ補助を行う。</p> <p>【成果】 白鷹町少年少女合唱団は年長児から6年生までの30名で構成されている。年間40回の合唱練習、発表会や様々なイベントへの参加を通して、青少年の健全育成と芸術文化活動の推進が図られている。</p>	100	4	4	4	A	今後も継続した団員の確保に努める必要がある。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 3.芸術文化の振興

中項目 4.文化を介した交流、未来にはばたくづくり

係名 生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	文化交流センター費	<p>【事業概要】 「文化・交流・人づくり」によるまちづくりの拠点施設として整備された白鷹町文化交流センター「あゆむ」の管理運営を指定管理者に委任する。</p> <p>【成果】 町民自らが担い手となり、創造的で多様な芸術文化活動を促進するため、事業企画委員会参加の自主事業として、仏像展、「あゆむ祭」及び各コンサート等、さらに、梅津五郎氏没後10周年を記念し作品展、絵画公募などを実施した。また、町芸術祭や各展示会など貸館事業も実施した。指定管理者の努力もあり、交流人口は年々増加している。</p>	33,131	4	4	4	A	運営状況や利用者数等の把握に努め、広報活動等支援を行い、さらなる交流人口の拡大と定着を目指す。
2	梅津五郎記念事業	<p>【事業概要】 画家梅津五郎氏が没後10年を迎えることから、その功績と遺徳を記念し、所縁の作品展を実行委員会に委託し開催する。</p> <p>【成果】 ・梅津五郎の世界展(5/18～6/23) ・森田茂・梅津五郎 師弟展(11/9～12/8) ・梅津五郎記念芸術賞全国絵画公募展(8月～11月)など 絵画公募展には、一般の部では全国から116点、小学生の部では県内から174点、中学生の部では県内から64点の応募があった。</p>	1,000	3	3	3	B	他関係機関との連携が必要。特に絵画公募展については、学校への開催周知を早期に行うなど連携を密に行う必要がある。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 3.芸術文化の振興

中項目 5.利用しやすい図書館づくり

係名 生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	読書感想文及び生活文コンクール開催事業	<p>【事業概要】 広く町民から読書感想文を募集し優秀な作品を讃えると共に、未来を担う子供たちが本を通して自己を見つめ将来に向かってどのように進んでいったらいいのか試行錯誤する場の提供と、読書力の向上を推進する。平成20年度からは特別賞として童門冬二賞も設けている。</p> <p>【成果】 各学校が忙しいなか、先生方にも負担をかけている部分があるが、子どもたちが本を読み、読書感想文を書くことを通し、自己を見つめるきっかけになるよう実施した。入選者の作品集も作成し、学校などに配布した。児童・生徒数の減少も影響し、応募者数は51点だった。</p>	206	4	4	4	A	例年、一般者からの応募が少ないため、周知方法、開催内容の工夫等、図書館協議会において検討する必要がある。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 4.生涯スポーツの推進

中項目 1.健康・生活スポーツの環境整備に努め、心豊かになる人づくり

係名 生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	第48回白鷹若鮎マラソン大会開催事業	<p>【事業概要】 9月15日(日)日本陸連公認第8553号コースで開催する。毎年約900名の参加者が、各種目により競技する。</p> <p>【成果】 975名がエントリーし、878名が完走。スポーツ振興くじ(toto)助成金810千円を受け実施。</p>	1,642	3	3	3	A	次回大会より開催日を9月の秋分の日とすることを決定。
2	町誕生59周年記念地区対抗駅伝競走大会開催事業	<p>【事業概要】 白鷹町誕生59周年を記念し10月13日(日)白鷹町1周コースで開催する。</p> <p>【成果】 各地区6チームが参加し、大会を実施。競技力向上、スポーツ振興向上の意識の醸成に寄与した。十王地区が優勝。</p>	426	3	3	3	A	各地区選手の選出に苦慮している。引き続き検討していく。
3	白鷹町総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	<p>【事業概要】 総合型地域スポーツクラブの育成支援を行う。町では日本スポーツ振興くじ(toto)助成を受け、スポーツクラブの活動に係る補助を強化、クラブでは専任クラブマネージャー2名を雇用する等、活動がより活発になるよう支援していく。</p> <p>【成果】 会員141名(昨年145名)。7コース開催。夏・冬キャンプ、ロックフェスティバルなどを開催した。</p>	5,709	3	3	3	A	会員数や財源が課題。今後のクラブのあり方について検討会を開催していく。
4	東北総合体育大会ソフトボール競技開催事業	<p>【事業概要】 東北総合体育大会は、東北6県を持ち回り、開催地となるもの。8月23日(金)～25日(日)開催。南陽市が成年男女の部、白鷹町が少年男女の部を開催。実行委員会を組織し実施する。</p> <p>【成果】 成年男女、少年男女すべて山形県チームが優勝し、東京国体へ出場した。</p>	798	3	3	3	A	競技団体(ソフトボール協会等)が主体となり大会を開催する形づくりが必要である。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 4.生涯スポーツの推進

中項目 2.スポーツ団体・関係機関の連携による競技スポーツの推進と指導者づくり

係名 生涯スポーツ係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	白鷹町スポーツ振興 基金事業	<p>【事業概要】 スポーツ振興基金運営委員会の決定に基づき、競技力向上対策事業、スポーツ団体の育成、健康づくり推進事業等を実施する。</p> <p>【成果】 1.競技力向上対策事業、2.町体育協会活動助成事業、3.各競技団体選手育成事業、4.町スポーツ健康づくり普及事業、5.スポーツ推進委員会活動助成事業、6.スポーツ少年団育成事業を実施した。</p>	2,400	3	3	3	A	体育協会に加盟する団体の寄付額の割合に応じ配分していることについて検討したが、当面、この形で継続することとなった。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

大項目 4.生涯スポーツの推進

中項目 3.安心・安全なスポーツ環境づくり

係名 生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	白鷹スキー場ペアリフト改修工事	<p>【事業概要】 ペアリフトの運転操作盤、索条の交換等大規模な改修を行う。</p> <p>【成果】 減速機、プロペラシャフト、制御盤、支えい素他の改修を実施。</p>	44,835	4	4	4	A	安全を確保するため、今後も計画的な整備、改修が必要。

必要性 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】